



ななくに峠

〔生徒行動指針〕 み・そ・あ・じ (の「み」・・・身だしなみ)

八王子市立七国中学校

令和7年5月1日

七国中だより

5月号-1

令和7年度 八王子市立七国中学校 学校経営計画〔抜粋〕

(詳細は、学校ホームページに掲載しております)

1 学校教育目標と3つの目指す像

(1) 学校教育目標 ⇒ 「教養と品格を身に付け、社会に貢献する人間の育成」

(2) 目指す学校像 ⇒ 「生徒や保護者、地域に信頼される学校」

七国中の教職員として真摯に職務に専念することが、信頼される学校づくりにつながる。

- ① 生徒が、学力を高め、自分の個性を生かし、安全に生活できる学校
- ② 保護者・地域が、信頼感をもって、安心して生徒を通わせ、成長が期待できる学校
- ③ 教職員が、指導力を身につけ、常に改善・改革と前進を目指す学校

(3) 目指す生徒像

「知・徳・体の調和がとれる生徒」

- ① よく学び、よく考え、進んで高めていく生徒 (知)
- ② 他を思いやり、いじめをしない許さない生徒 (徳)
- ③ 身体と生命を大切にし、忍耐強く頑張る生徒 (体)

(4) 目指す教員像

『組織力』と『教員力』の向上を常に念頭に置き、真摯に職務を遂行する。

① 組織の一員として職責を果たす教員

- ・行事や取組、さまざまな対応は、リーダーを中心に学年体制、全校体制で臨む。
- ・学年会や分掌部会等、諸会議において活発かつ十分に意見交換し、企画調整会議での決定につなげる。
- ・報告、連絡、相談及び伝達系統ラインを徹底し、共通理解のもとで組織的に取り組む。
- ・管理職の指示、企画調整会議や学年会・分掌部会・行事委員会等で決定した内容は、速やかに実践・実行する。

② 使命感と責任感をもって職務に励む教員

- ・常に研究意欲と向上心をもち、授業力の向上が信頼度を高めることを自覚し、実行する。
- ・使命感と責任感を持ち、教育公務員として服務規律遵守の徹底を図る。
- ・不適切な言動や行き過ぎた指導とならないよう、生徒の人権を尊重し、その感覚を磨く。
- ・生徒や保護者の気持ちに寄り添う姿勢を基本とし、迅速、適切に対応する。

2 中期的目標と重点目標

- ・「目指す学校像」、「目指す生徒像」、「目指す教員像」の3つを基盤として取り組む。
- ・特に「目指す教員像」は全ての教育活動を行う上で、常に意識し、確実に日々実践する。
- ・学校教育目標の中学校3年間での達成を最終目標とする。

3 取組目標と方策

(1) 確かな学力の定着と向上

- ・基礎的、基本的な学習内容の定着と学力の向上に向けて、教員の授業力を向上させる。教材研究や指導方法の工夫改善に努め、授業規律の徹底、指導と評価の一体化に向けての取組を進める。
- ・分かる授業を基本とし、学習意欲が高まる授業を展開する。また、主体的な学習活動など、必要に応じてICT機器・タブレット端末及び学習コンテンツを効果的に活用し、指導の個別化、学習の個性化につなげる。

(2) 豊かな心の育成といじめ防止

- ・人権尊重の精神に基づき思いやりの精神を育む。また、道徳的心情や適切な判断力及び実践力を育成する。

- ・いじめゼロに向けて、思いやりの心と他者理解の心の育成を図る。
- ・命の大切さを十分に理解させ、生きる喜びを実感させる。

(3) 健やかな体の育成と心身の健全な成長

- ・心の健康を維持するために、何事にも真摯に取り組む姿勢を養う。
- ・健康を保持・増進する態度及び、困難な状況を乗り越える気力や体力を養う。

(4) 生活指導の充実

- ・基本的な生活習慣を身に付けさせる。ルールやマナーの徹底を図り、自律心や社会性を育てる。
- ・生活指導部の方針を基盤とした組織的な生活指導の実践力を高める。
- ・学校のルールや授業規律の徹底を含めた規範意識の醸成、及び自治の意識の向上を図る。

(5) 特別支援教育の充実、及び不登校対策の推進

- ・特別支援学級（太陽学級）の指導を充実する。特別支援教室の意義と内容をきちんと理解し生徒を支援する。また、教員間の連携と情報共有を密にしながらインクルーシブ教育を推進し、共生社会の考え方を理解させる。
- ・支援が必要な生徒に対しては、様々な関係機関と連携し、支援する。

(6) 進路指導・キャリア教育の充実

- ・3年間を見通した計画的、継続的な進路指導及びキャリア教育を実践する。
- ・個々の自己理解に基づき、適切な進路選択ができる力を身に付けさせる。

(7) その他の取組

- [1] 小中一貫教育の充実を図る。
- [2] 学校運営協議会との相互協力を図る。地域や保護者との連携・協力を図る。
- [3] 教員の働き方改革を進め、仕事の効率化を図る。

特別支援教室からのお知らせ

特別支援教室とは、通常の学級に在籍し、在籍学級における学習上又は生活上の困難の改善・克服を図るため、個別の教育的ニーズに対するより適切で効果的な指導を行う教室です。一部の時間、別の教室で指導を受けます。特別支援教室は都内の全公立小・中学校に設置されており、原則自分の在籍する学校で指導を受けます。

特別支援教室の利点としては、一人一人に合った学び方を学習し、各自がもつ力を伸ばします。また、個別の支援を行うことでより有意義な生活の実現を目指します。七国中では、拠点校である柵田中学校から専門の教員が七国中に来て、指導や支援を行います。入級については、八王子市による細かい手続きや条件があります。以下は、七国中の特別支援教室「ぷらす」の紹介です。

☆特別支援教室「ぷらす」の紹介☆

【特別支援教室について】

生徒一人一人の課題や現状に応じて学習や生活の一部を支援することを目的とした指導を行います。柵田中学校『アシスト』より専門の教員が、原則として月曜日と木曜日に七国中の特別支援教室を巡回して指導します。

【特別支援教室専門員について】

特別支援教室設置校に配属されています。専門教員が巡回していない日にも教員と一緒にサポートして下さる方です。七国中の今年度の専門員は 榎本 絵里子 さん です。

【相談について】

詳しい内容を知りたい方は以下の方法を参考に気軽にご相談ください。

- ① 担任に相談する
- ② 特別支援教室専門員に相談する
- ③ 柵田中学校教員の巡回日に相談する
- ④ 拠点校の特別支援教室『アシスト』(042-662-2037)へ連絡する

【特別支援教室『アシスト』より】

柵田中学校特別支援教室『アシスト』では、生徒のみなさんや保護者の皆様が、坂道を上っている時や、一度止まって休んだ後また動き出す時に少しでも楽に進めるような『アシスト』をしていきたい、また、生徒のみなさんがゴールを決めやすいような柔らかい『アシスト』もしていきたい、と思っています。

学校からのお知らせ 『音声メッセージ電話の運用について』

5月3日より、自動音声メッセージによる電話の運用を始めます。これは、長時間勤務となっている教員の時間外勤務を軽減し、授業準備や研修に専念してより良い状態で生徒と向き合うための時間を確保するためのものです。保護者、地域の皆様におかれましては、趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願いいたします。

- 平日7時30分～19時以外の時間帯と土日、祝日の終日は、音声案内による対応となります。
- 土日、祝日の部活動等の欠席連絡については、Home&Schoolにてご連絡ください。
- 学校からの着信があった場合も、19時以降の折り返しは不要です。必要があれば再度学校から連絡をいたします。
- 行事等の関係で、音声案内の時間帯が変更になることがあります。

教育委員会からのお知らせ

八王子市では、児童・生徒一人ひとりに最適な学びの場を保証し、生涯にわたり学び続ける環境を整備するために、生涯額に係る多様な情報を集約した「八王子市教育情報プラットフォーム（ハプラ）」の運用を開始します。対象者は、八王子市立小・中・義務教育学校の全児童・生徒及び保護者、全教職員です。



「八王子市教育情報プラットフォーム（ハプラ）」の運用を始めます！！



八王子市では、子どもたち一人ひとりに最適な学びの場を保証し、生涯にわたり学び続ける環境を整備するために、生涯学習に関する多様な情報を集約した「八王子市教育情報プラットフォーム（ハプラ）」の構築を教育委員会の関係所管が連携してすすめております。

この度、「八王子市教育情報プラットフォーム（ハプラ）」の運用開始に向けた準備が整いましたのでお知らせします。今後、どんどん新情報を追加していきますので、ぜひ見てください！

掲載予定
の内容

【学びの部屋】

授業の動画、各学校の取組紹介、八王子市の歴史 など

【体験の部屋】

地域のスポーツ・文化・芸術活動 など

★右の二次元コードから「ハプラ」にアクセスできます。



ハプラ

★情報を更新したら、Instagramでもお知らせします。



教育指導課
Instagram

【授業の部屋】

出前授業の紹介、市内企業への体験訪問 など

【職業の部屋】

市内企業・団体の紹介、職場体験・施設見学の情報 など

【お問合せ】
八王子市教育委員会
教育指導課（教育研究所）
電話...042-673-6308

あなたのみちも
あるけるまち。
八王子

【閲覧方法】

以下の URL 又は二次元コードより閲覧できます。

URL : <https://hachioji-school.ed.jp/swas/index.php?id=hachiojicity>

エピペン研修会

4月8日（火）多目的ホールにて、教職員対象のエピペン研修を実施しました。エピペントレーナーを使ってエピペン接種の実際（使い方）を学んだ後、アクションカードを活用して実際の動きを確認し、アナフィラキシー症状が起こった際に動ける体制を整える目的で行いました。シミュレーションを設定し、実践形式で行った今回の研修は、とても緊張感のある学びの多い研修となりました。



七国中緑化活動

4月12日（土）七国中学校にて、青少対（育成指導員）主催による第1回緑化活動が実施されました。今回は体育館東側の花壇の雑草を抜いて土壌を整備した後、ヒマワリの種をまきました。夏には大きくてきれいな花を咲かせることでしょう。当日は多くの地域の皆様や生徒、教職員が参加しました。ご参加いただきました皆様、お疲れさまでした。



第1回 生徒会朝礼

4月21日（月）今年度第1回目の生徒会朝礼が行われ、各専門委員会から今年度の活動目標が発表されました。専門委員を中心に、この1年間、みんなでよりよい学校を作っていきましょう。



第1回 避難訓練

4月21日（月）5校時終了時に、火災を想定した第1回避難訓練を実施しました。新年度が始まり、新しい教室からの避難ということもあり、今回の避難訓練では避難経路と避難時における集合場所、点呼の方法を確認しました。生徒たちはしっかりと指示を聞き、安全に避難ができるように真剣に取り組んでいました。



体育大会応援団



5月31日（土）に実施される体育大会に向けて、応援団の、1・2・3年生全体の顔合わせが行われました。3年生の団長の挨拶とともに、体育大会を盛り上げるべく、意識をもって活動を行おうという意気込みが感じられるスタートとなりました。多目的ホールでの全体の顔合わせの後は、教室で各団ご

とに今後の活動予定や、応援の内容などを確認する時間となりました。体育大会までは約1か月となりますが、全校生徒をリードする存在となって盛り上げてほしいです。